大阪府市下水道ビジョン　概要版

・背景

（現状）

・住民の９９．８％が下水道計画区域内に居住

・大阪府と市町村が協力しながら広域的に事業を実施

（下水道を取り巻く課題）

・人口減少による使用料収入の減少や、施設老朽化による改築更新事業の増など

下水道事業の経営環境は厳しさを増す。

・ビジョン策定の目的

大阪府と大阪市が協力し、住民の安全・安心な暮らしを守るとともに、質の高い下水道サービスの提供や下水道ストックを活用し社会へ貢献していくために、府市連携等による今後３０年の下水道事業実施の方向性をビジョンとして定め、府市下水道が更に発展するとともに、ふない市町村下水道の持続性確保に貢献して、府域全体の下水道事業の発展を目指します。

・府市連携のイメージ

府市連携のイメージを図に示す。

　【大阪府の強み】

　　・日本初の流域下水道を整備、運営してきた実績

　　・全国最大規模の流域下水道

　　・ふない市町村とのネットワーク

　【大阪市の強み】

　　・古くから下水道事業を整備・運営してきた実績

　　・管きょからしょりじょうまでの総合的な下水道システムのノウハウを蓄積

　　・上下分離方式で効率化して事業方式

　【ふない市町村が抱える課題】

　　・担い手不足により事業の持続性や技術りょくの継承への懸念

　　・管きょ等の老朽化

　【府域全体の下水道事業の発展】

　　府市の下水道が有する強みを生かして連携することにより、社会情勢の変化に効率的に対応し、府市がさらなる発展を目指すとともに、ふない市町村の下水道事業の持続的な事業運営に貢献していく。

　　（府市連携の方向性）

　　　・府市下水道のさらなる発展

　　　・ふない市町村下水道の持続性確保に向けた貢献

・府域全体の下水道事業の発展のための３つのビジョン

下水道を取り巻く状況

　・施設の老朽化

　・担い手不足、技術りょく低下

　・公共用水域に関する住民等のニーズの変化

　・気候変動による浸水被害の激化

　・大規模地震・津波等の懸念

　・人口減少（汚水量減少、使用料収入減少等）

　・さらに広がる下水道の役割

　めざす姿（ビジョン）

　・ビジョン１：将来にわたり安定的に機能する下水道

　・ビジョン２：安心して暮らせるまちを支える下水道

　・ビジョン３：ストックを活用し社会へ貢献する下水道